

福利厚生推進法人 認証

北王コンサルタント株式会社

～北の大地で社員に寄り添う～

北王コンサルタント株式会社（以下「同社」）は、北海道帯広市に本社を置く総合建設コンサルタント会社である。北海道が持続可能な食料生産基地であり続けるために、安心・安全なまちづくり、限りある水資源・地球環境を守る事業を通して、地域の農業・生活・自然を支えている。

同社では「会社にとって社員は最も大切な財産」という理念のもと、経営トップが主導し福利厚生の充実、健康経営に取り組んでいる。

こうした取り組みが評価され、2024年の福利厚生表彰・認証制度（ハタラクエール）において、同社は「福利厚生推進法人」に認証された。22年以降3年連続の認証となる。

同社の福利厚生制度について総務部の佐藤さん、寺本さんに話を伺った。

受賞のポイント

福利厚生表彰・認証制度（ハタラクエール）は、経営課題への対応、福利厚生の目的の位置付けと対応、および制度の充実度など六つの評価軸で審査される。同社は評価軸の一つ「福利厚生への熱意」で高い評価を受け、24年も福利厚生推進法人に認証された。

「福利厚生への熱意」が高く評価されることは、経営者が福利厚生に重きをおき、経営の一手段として福利厚生を活用していること、福利厚生担当者も福利厚生を人事戦略を支える手段として認識していることが顕著であることを示している。

福利厚生の取り組み

同社の福利厚生制度では、労働生産性の向上、望まない離職の低減、安心して働ける会社づくりを目指し、①働き方、②生活、③健康経営の3つの制度を整えている（図表2）。

北王コンサルタント株式会社 概要（2024年3月末現在）

業種	サービス業
事業概要	総合建設コンサルタント（農業インフラ、都市インフラの計画・調査・設計、環境・エネルギーの調査・分析・評価、測量・地質調査など）
従業員属性別数	正規従業員 96人 非正規従業員 27人
非正規社員の割合	22.0%
男女比	男性64%：女性36%
平均勤続年数（正規従業員）	12.8年
平均年齢（正規従業員）	44.2歳

図表1 ハタラクエールの審査6分野（抜粋）

評価軸	評価内容
②現状把握	福利厚生の目的をどう位置付け、福利厚生がどれだけ効果を発揮しているかを把握しているか、把握の方法はどうしているか

「働き方」に関わる制度

同社には、北海道の農業を支えたいという高い意識をもって入社する社員が多い。年齢、性別、職位、職歴や得意分野、専門分野は異なるが、社員の「こんなことにチャレンジしたい」という気持ちを同社では後押ししている。

具体的には、資格取得のための受験費用や旅費を全額補助している。その他、資格手当として月5万円を支給している。

「生活」に関わる制度

北海道ならではの制度を二つ紹介しよう。同社は、日本ハムファイターズの球場「エスコンフィールド北海道」のシーズンシートを年間契約しており、社員とその親族は無料で利用できる。近くの座席から臨場感溢れる試合を楽しむことができる好評だ。

高級リゾートとして知られる「星野リゾートトマム」を割安で利用できる制度も設けている。雲海テラスからの眺めは絶景でウインタースポーツ

やプール、乗馬体験など一年中楽しめ、こちらも社員から好評だという。

「健康経営」関連の施策

野菜不足解消の取り組み 同社は、健康経営にいち早く着目し多くの施策でその向上、改善に取り組んでいる。

社員に管理栄養士や栄養士、野菜ソムリエ、食生活アドバイザーなどの有資格者がいることを生かし「野菜×健康」をテーマにした取り組みを行っている。グループ会社の北王農林が生産している新鮮な十勝産野菜セットを年に数回社員に配布、調理法もアドバイスしている。

この他には社員の野菜への関心や健康意識を高めるため、野菜を使用した菓子を毎月無償で提供している。これらの社内活動や北王グループで行っている食と健康、SDGsの取り組みを一冊にまとめた「十勝の野菜をもっと！楽しむBOOK」を作成した。WEBでも読めるようにするなど社外にも積極的に情報発信している（右写真）。

運動不足解消に向けた取り組み 北海道では車を中心とした生活のため、運動不足になりがちだ。

そこで同社では、社用自転車を4台購入するとともに、屋根付きの駐輪場を整備した。

社用自転車は近隣への外出や休憩時の気分転換に利用されている。運動不足解消のほか、温室効果ガス削減、ストレス解消に役立てられており、自転車通勤者も増えているという。

年3回のウォーキングキャンペーン このような健康活動を「見える化」するため、社用スマートフォンを全社員に貸与し歩数計測や体重管理ができるヘルスケアアプリを導入した。1日8,000歩を目標とし、2月、6月、10月の年3回、このアプリを活用したウォーキングキャンペーンを実施している。

再検査・精密検査の受診率100%を目指して

同社では「やるなら100%を目指す」という意識がある。例えば、健康診断の結果、再検査・精密検査の対象となった人には、100%受診してもらうために受診勧奨の文書を個別に作成し、健診担当者からメールで連絡している。

インフルエンザの予防接種についても対象者全員に摂取してもらうため、接種費用の全額会社負

図表2 主な福利厚生制度、健康経営の取り組み

制度区分	取り組み内容
働き方	ノー残業デー、フレックスタイム制度、出産・育児へのサポート、資格取得支援制度
生活	コミュニケーションイベント、「星野リゾート」トマム優待宿泊、同好会（サウナ部、アウトドア部等）、「エスコンフィールド北海道」シーズンシート
健康経営	健康診断オプション検査の費用補助、健康診断再検査時の特別休暇付与、インフルエンザワクチン費用補助、禁煙支援、社用自転車の活用、ウォーキングキャンペーンの実施、地元野菜の無料配布、食や健康情報の配信

これまでの表彰実績 健康経営優良法人選定、ブライト500認定、協会けんぽ健康事業所宣言、スポーツエール2024認定

「十勝の野菜をもっと！楽しむBOOK」



担、接種日に充てられる特別休暇など制度を整えた。特別休暇は再検査の受診にも活用できる。

これらの取り組みの成果もあって「健康経営優良法人・中小規模法人部門（ブライト500）」に21年から3年連続で認定されている。

今後について

健康経営を推進する中で苦慮しているのが「喫煙率」だという。毎年6月から7月下旬に掛け禁煙キャンペーンを実施しているが、なかなか20%の壁を壊すことができない。

同社では今後の社員の高齢化を見据えて今まで以上に「健康経営と福利厚生」の両軸で、北の大地とそれを守る社員を支えていくとしている。